

COMPANY RESEARCH AND ANALYSIS REPORT

|| 企業調査レポート ||

CaSy

9215 東証グロース市場

[企業情報はこちら >>>](#)

2025年4月11日(金)

執筆：客員アナリスト

中山博詞

FISCO Ltd. Analyst **Hiroshi Nakayama**



FISCO Ltd.

<https://www.fisco.co.jp>

CaSy | 2025年4月11日(金)

9215 東証グロース市場

<https://corp.casy.co.jp/ir/>

業績動向

売上高は価格改定と行政との連携が寄与し増収

2024年11月期の業績概要は、売上高が前期比13.8%増の1,761百万円、営業利益が同65.6%減の7百万円、経常利益は同71.3%減の6百万円、当期純利益が同73.1%減の5百万円となった。売上高は価格改定と行政との連携が寄与し増収となった。売上総利益は20.0%増と堅調だが、人的資本・広告投資の増加により販管費が23.6%増加し、営業利益は前期比で減少した。経常利益・当期純利益も同様に縮小した。定期サービスの安定成長を背景に、営業黒字を維持しつつプロダクト品質への投資を継続する方針で、競争力強化を推進する。

同社の四半期売上高は2021年11月期第1四半期の267百万円から2024年11月期第4四半期の460百万円へと継続的に増加し、売上総利益も同様の成長傾向を示している。特に各年度の第3四半期、第4四半期で売上が加速する傾向があり、新規顧客獲得や行政連携が寄与したと考えられる。一方、広告・人的投資の影響が大きく利益面が減少しているものの、成長投資を優先しているものと見られる。

2024年11月期の業績

(単位：百万円)

	23/11期	24/11期	増減額	増減率
売上高	1,547	1,761	213	13.8%
売上総利益	561	673	112	20.0%
販管費	538	665	127	23.6%
営業利益	22	7	-14	-65.6%
経常利益	21	6	-15	-71.3%
当期純利益	21	5	-15	-73.1%

出所：決算短信よりフィスコ作成

■ 今後の見通し

ストック収入の基盤が拡大し、安定した成長が継続

2025 年 11 月期の業績予想は、売上高が前期比 10.0～20.0% 増の 1,937～2,113 百万円を見込む。一方で、営業利益（前期は 7 百万円）、経常利益（同 6 百万円）、当期純利益（同 5 百万円）はいずれも 0 となる見通しである。これは、新規の行政連携や MoNiCa 事業の進展による不確実性の増加及び、広告宣伝やプロダクト・品質投資の強化によるものと考えられる。

2024 年 11 月期第 4 四半期の定期 UU 数は前年同期比 4.8% 増と着実に増加し 7,359 人となった。ストック収入の基盤が拡大しており、安定した成長が続いている。また、同第 4 四半期に広告宣伝投資の効率化を実施し、顧客・キャストの登録数も継続的に増加している。コスト最適化とユーザー獲得のバランスが取れた成長戦略が奏功していると考えられる。

■ 成長戦略

自治体や経済産業省と積極的に連携、利用者層の拡大を目指す

同社は、家事支援サービスの拡充と DX を推進し、暮らしのプラットフォーム構築を目指す。行政との連携を強化し、東京都墨田区・葛飾区・台東区や福井県で家事・子育て支援事業を展開している。さらに、経済産業省の「家事支援サービス福利厚生導入実証事業」に採択され、企業向け福利厚生サービスを拡大した。ワタキューホールディングス（株）との合併会社設立や、（株）すっきりマイスターの子会社化を通じたハウスクリーニング事業の強化も進める。今後、DX プラットフォーム「MoNiCa」を活用し、業界全体の需給バランス最適化と利用者拡大を図る。

近年、少子化対策の一環として行政の家事支援事業の拡充が進み、市場拡大が後押しされている。2022 年 10 月には出産・子育て応援交付金が創設され、自治体の支援を活用した家事支援サービスへの助成が開始された。2023 年 6 月には「経済財政運営と改革の基本方針」（骨太方針 2023）で、女性活躍推進の一環として家事支援サービスの普及促進が盛り込まれた。また、2024 年 4 月からは改正児童福祉法が施行され、市区町村が家事支援を必要とする家庭への事業展開を支援している。さらに、2024 年 5 月からは「ライフステージを支えるサービス導入実証等事業」がスタートし、家事負担軽減のための企業支援が拡大した。同社は自治体や経済産業省と積極的に連携し、市場拡大を生かした利用者層の拡大を目指す。

CaSy | 2025年4月11日(金)

 9215 東証グロース市場 | <https://corp.casy.co.jp/ir/>

■ 中長期経営戦略

家事支援サービスの安定成長を基盤に、さらなる事業拡大を図る

同社は、「MoNiCa」を活用したクラウド型家事支援の強化や、行政との連携による市場拡大を進め、家事支援の効率化とカバー範囲の拡大を目指す。さらに、ハウスクリーニング、整理収納、買い物代行といった家事支援以外のサービスを展開し、より幅広い暮らしのサポートを提供する。中長期的には、家事支援に留まらず「暮らしのプラットフォーム」を実現し、多様なライフスタイルに適應したサービス展開を行うことで、持続的な成長と売上総利益の拡大を実現する。

「MoNiCa」は家事支援事業の課題を解決するDXプラットフォームであり、業界全体の需給バランス最適化を目指す。名称は「も (Mo) っと、日 (Ni) 本に、家 (Ca) 事支援を」を意味し、サービスの本質を象徴する。日本には約4,000社の家事支援企業が存在するが、DX化の進展は遅れている。同社はIT資本を生かし、「クロスマッチング」機能で人材不足と需要のミスマッチを解消する仕組みを構築し、市場での競争優位性を高める。

同社は、家事代行業者間でユーザーとスタッフを相互にマッチングする「クロスマッチング」機能を構築し、需給の最適化を図っている。この仕組みにより、取引ボリュームが増加し、キャストにとっても近隣の顧客からの依頼を受けやすくなるメリットが生まれている。今後は、さらなるシステム改善と提携事業者の拡大を進め、家事代行業界全体の効率向上と市場拡大に寄与する方針である。

■ 株主還元策

株主還元及びサービスの認知度向上を目的に株主優待制度を導入

同社は現在配当は行っていないが、株主還元及びサービスの認知度向上を目的に、株主優待制度を導入した。100株以上の保有株主に対し、8,000円分のギフト券を贈呈する。権利確定日は11月末日で、11月30日に株主名簿へ記載され、ギフト券は翌年2月中旬に送付される。これにより、株主のサービス利用を促進し、企業価値の向上を目指すとともに、長期的な株主の支持を強化する狙いがある。

重要事項（ディスクレマー）

株式会社フィスコ（以下「フィスコ」という）は株価情報および指数情報の利用について東京証券取引所・大阪取引所・日本経済新聞社の承諾のもと提供しています。

本レポートは、あくまで情報提供を目的としたものであり、投資その他の行為および行動を勧誘するものではありません。

本レポートはフィスコが信頼できると判断した情報をもとにフィスコが作成・表示したのですが、フィスコは本レポートの内容および当該情報の正確性、完全性、的確性、信頼性等について、いかなる保証をするものではありません。

本レポートに掲載されている発行体の有価証券、通貨、商品、有価証券その他の金融商品は、企業の活動内容、経済政策や世界情勢などの影響により、その価値を増大または減少することもあり、価値を失う場合があります。本レポートは将来のいかなる結果をお約束するものでもありません。お客様が本レポートおよび本レポートに記載の情報をいかなる目的で使用する場合においても、お客様の判断と責任において使用するものであり、使用の結果として、お客様になんらかの損害が発生した場合でも、フィスコは、理由のいかんを問わず、いかなる責任も負いません。

本レポートは、対象となる企業の依頼に基づき、企業への電話取材等を通じて当該企業より情報提供を受けて作成されていますが、本レポートに含まれる仮説や結論その他全ての内容はフィスコの分析によるものです。本レポートに記載された内容は、本レポート作成時点におけるものであり、予告なく変更される場合があります。フィスコは本レポートを更新する義務を負いません。

本文およびデータ等の著作権を含む知的所有権はフィスコに帰属し、フィスコに無断で本レポートおよびその複製物を修正・加工、複製、送信、配布等することは堅く禁じられています。

フィスコおよび関連会社ならびにそれらの取締役、役員、従業員は、本レポートに掲載されている金融商品または発行体の証券について、売買等の取引、保有を行っているまたは行う場合があります。

以上の点をご了承の上、ご利用ください。

■お問い合わせ■

〒107-0062 東京都港区南青山 5-13-3

株式会社フィスコ

電話：03-5774-2443（IR コンサルティング事業本部）

メールアドレス：support@fisco.co.jp